

## なとセン登録団体活動紹介

# NPO 法人東日本カウンセリングセンター

### 心に寄り添うために・・・

団体設立メンバーだった五十嵐豊子さんが、カウンセリングを学び始めたのは、自身の子育てで壁にぶつかった事がきっかけでした。当時、仙台には学ぶ場所がなかったため、あらゆる所に学びを求めました。

平成6年、学んできたカウンセリングで起業し宮城県児童相談所の電話相談員や、当時スクールカウンセラーが各学校に導入されていなかった時代に、私立明成高等学校の校長先生にカウンセラー導入の必要性を話し、カウンセラーとして子ども達の心に寄り添ってきました。

一方、カウンセリングルームでは「この子を何とかしてください!」と悩んでいる親に接しながら、もっと多くの家庭を笑顔にする関わりが必要だと実感します。有志で作ったカウンセリング研究所とカウンセリングルームを運営しながら、著書「笑顔塾」を出版し、日常生活に有効なカウンセリングスキル活用方法を発信してきました。

五十嵐さんの学派や心理療法を偏らずに使いこなすカウンセリング臨床スキルは、2000件を超える相談数から培われたと言えます。

### 震災と共に

講座の受講者からもっと実践カウンセリングを学びたいという声にこたえて平成15年にNPO法人を設立します。NPO法人の活動として、マイクロカウンセリングの第一人者でもある立正大学心理学教授指導のもと20年間にわたり本格的なマイクロカウンセラー養成講座を開講しました。講座の受講生は深く心を学び、ぶれない自分軸を身につけ日常生活に活かします。認定試験合格者は、法人でカウンセリング業務を担当し経験を積んでいたところに東日本大震災が発生しました。

震災後も法人発足記念イベントは毎年行われ、今年14年目の記念イベントを「名取の心の復興」をテーマに、名取市長、副市長、被災者の方々（愛

島仮設での体験、あすと長町での体験）で生活の中にある様々な課題を話し合いました。

### 社会的課題への取り組み

復興支援も視野に入れながら、気仙沼市、名取市、仙台市で活動し、次代を担う子供の成長や親子の絆づくり、仕事で活かせるコミュニケーション力を磨く講座を継続的に開催しています。

近年では企業におけるストレス問題が増え続けブラック企業であるとか、電通で女子社員の自殺、NHKでも過労死していたという事が取り上げられています。世界でも「Karôshi」で通じる程です。

東日本カウンセリングセンターは、厚生労働省より、メンタルヘルス相談の専門機関（基安労発第0619001号）として認定されており、省庁・各企業からの依頼を受けメンタルヘルス講座を開き、生活の中に幸せを見つけることのできる能力の開発支援と、普通の人をより精神的に解放し向上させるカウンセリングを目指しています。

今後とも新しい企画と共に必要な所に必要な事を提案実施していくカウンセラー集団であり続けたいと語ります。

五十嵐豊子さん



問合せ NPO 法人東日本カウンセリングセンター  
〒980-0021 仙台市青葉区中央3丁目5-14  
電話 022-211-9234 FAX 022-211-9270  
E-mail mailto@npo-ejcc.org